



隔週金曜日発行

東大阪市議

中西のぶひろの 週刊なのタイムス

～東大阪の市政や地域情報をお伝えする～

第56号令和5年10月20日発行

発行：東大阪市議会議員 中西のぶひろ

住所：東大阪市瓢箪山町2-14

連絡先：(TEL)072-982-5127 (FAX)072-985-6972

携帯：090-8164-5857

メール：nakanishi.jimusho@gmail.com

ホームページ：<https://www.nanotimes.net/>

■こんな議員活動を行なっています

みなさんのご支援のお蔭で、4期目の議員活動をさせていただくことができましたことを、心から感謝いたします。71才と東大阪市議会議員の中で最高齢になりましたが、最高齢者として議会の中での責任を果たすとともに、高齢者世代の先頭に立って高齢者施策の充実を図り、高齢者世代の責任として若い世代の子育て支援をしっかりとサポートして、地域の課題に向き合っています。



★私の公約 ～三つのしっかり

これまでの12年間は、次のような姿勢で議員活動をおこなってきました。これからもぶれることなく、「三つのしっかり」を実行できるように力を尽くします。

①どんな声にも耳を傾け、一人ひとりに寄り添い行動します。無所属で活動する私には、政党の党利党略や、特定の団体とのつながりはなく、市民の皆さんといつも等距離で接することができます。どんなお困りごとでも、まずご相談ください。必ず「**しっかり**」と寄り添ってまいります。

②まちづくりの先頭に立ちます。これまでの議員活動の中心は、まちづくりにどうかかわっていかでした。これからも、様々な分野で活動する市民の皆さんの声を市政に反映させるために、「**しっかり**」と本会議の質問をして政策に高めてまいります。

③活動の見える化に努めます。55号まで発行した「週刊なのタイムス」を今後も継続し、中西の視点で市政のことや地域情報をお伝えし、いま何が問題になっているのか「**しっかり**」と伝えてまいります。

■議員って、先生なの？（なのタイムス第42号の再掲です）

興味深い新聞記事に接しました（産経新聞・令和4年10月17日）。大阪府議会は9月に、議員の意識改革のために、長年慣例になっていた議員に対する「先生」という呼称を使わないことを決めたということです。たしかに職員から「先生」と呼ばれると、自分は特別な存在になったと勘違いして、どうしても上下関係が生まれやすくなります。今度の府議会の決定では、名前の後に「議員」や「さん」、「幹事」など会派での役職名をつけることになりましたが、とてもいいことだと思います。東大阪市の女性職員のなかに「中西議員」と呼ぶ人がいてとても好感を持っていましたが、東大阪市議会でも、早晚同じような決定がなされるでしょう。

私も、市職員から先生と呼ばれて面はゆい思いをしていましたし、「先生と呼ばれるほどの馬鹿でなし」ということで、先生と呼ばないでということがよくありました。また一緒に活動している市民の皆さんから、「先生」と呼ばれた瞬間に仲間感がなくなるので呼ばないで、とお願いすることもよくありました。今回の府議会の決定は、府議と市職員、府議同士の関係でのことで、市民が「先生」と呼ぶことまで禁止するものではありませんが、これが定着していったら市民との関係でも「先生」というのをやめることがあたりまえになればなあ、と考えています。

■枚岡神社・秋郷祭, 無事に終わる!

10月14日15日の二日間にわたって行われた枚岡神社の秋郷祭は、今年は土・日曜日の開催で多くの参拝者が来ることが予想されました。【写真①】しかし初日は夕方頃から降り始めた雨が夜には本降りとなり、たいへんな気候条件の中で太鼓台が運行されました。当初予想されたよりも少ない人数でしたが、それでも多くの人でにぎわい、足元が滑ったりして太鼓台の事故が心配でしたが、大きな事故もなく各町の太鼓小屋に戻りホッとしました。【写真②】

一転して二日目は好天気恵まれ、今度は参道に人が溢れ太鼓台の運行ができるのか心配しましたが、こんな中を中担（なかがき）が行われ、担ぐ人もギャラリーも最高潮に達しました。悪天候と好天気の極端な条件下で行なわれた秋郷祭が無事終わったことは、なによりでした。

【写真③】【写真④】

雨の中、太鼓小屋に帰ってからの始末と次の日の準備、15日は最高の祭りをして、16日は村祭りで3日間フルに活動したみなさんには、たいへんお疲れさまでした。とりわけ今年の祭りは、祭りにかかわった人たちを中心に、また地域の絆が一段と強まったのではないのでしょうか。記憶に残る、とてもいい祭りでした!



【写真①】四條大太鼓台の運行の安全を祈願（14日朝）



【写真②】雨の中、滑りやすい石畳を進む客坊大太鼓台（14日）



【写真③】大勢の人込みの中、大太鼓台の中担です（15日）



【写真④】瓢箪山小太鼓台の、気合のサッセー（15日）

